

## 会議録

### 1 会議名

平成30年上越市学校給食運営委員会

### 2 議題（公開非公開の別）

- (1) 委嘱状交付（公開）
- (2) 正副会長の選出（公開）
- (3) 状況報告（公開）
- (4) 学校給食米の銘柄変更について（非公開）
- (5) その他（公開）

### 3 開催日時

平成30年12月17日（月）午後2時30分から

### 4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟3階 大会議室

### 5 傍聴人の数

0人

### 6 非公開の理由

議題(4)については、「意思形成過程情報」を審議するため非公開としました。

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

委員：田中委員、小林委員、渡辺委員、東條委員、木村委員、内山委員、黒木委員、上野委員、大塚委員、守橋委員、瀬川委員、吉村委員、内山委員

事務局：教育総務課 金子課長、塚田副課長、齊藤係長、大石栄養士長、白石主任、田村主事

### 8 発言の内容

#### (1) 開会

#### 【齊藤学校給食係長】

- ・（参集に対するお礼）
- ・（資料の確認）

- ・この会は、上越市学校給食運営委員会設置条例に基づき設置され、任期は二年と定められている。今年度 17 名の方に委員を委嘱させていただいた。

## (2) 挨拶

### 【金子教育総務課長】

- ・(参集に対するお礼)
- ・学校給食運営委員会は、学校給食の充実と適正な運営を図るために置かれている委員会である。
- ・上越市の学校給食は、市立小学校 50 校および市立中学校 22 校、計 72 校に足して市立の幼稚園 1 園で行われている。調理方式は、自校給食が 64 校、センター給食が 4 か所 8 校で実施している。学校給食の目的は、単なる食事の提供ではなく、児童生徒の心身の健全な発達に資するために安全安心美味しい給食の提供に教育委員会として努めているところである。
- ・本日は、まず報告として、次第に記載してある学校給食の運営、アレルギー対応の状況、異物混入の状況対策、地場産野菜の使用拡大、調理業務の民間委託その他についてご報告をさせていただくとともに、学校給食用米の銘柄変更について、ご審議をいただくことになっている。

### 【齊藤学校給食係長】

- ・今年度初めての会議であるため、一言ずつ自己紹介をお願いしたい。
- ・(事務局、各委員自己紹介)
- ・委員の出欠状況についてご報告をさせて頂く。上越市学校給食運営委員会には、全部で 17 名の委員が委嘱されている。本日は 4 名の方が欠席のため 13 名の出席となっている。設置条例では、会の人数の過半数で成立することになっており、条例第 16 条によりこの委員会が成立していることをご報告させて頂く。

## (3) 会長副会長の専任

### 【齊藤学校給食係長】

- ・委員の異動に伴い、会長及び副会長が不在である。上越市学校給食運営委員会設置条例の第 5 条の規定により、会長および副会長は、委員の互選によって定めることとなっている。選出について伺いたい。  
(意見なし)
- ・選出の意見がなければ、事務局に一任いただけないか。  
(一同了承)
- ・では、会長を宮嶋小学校の田中委員、副会長は保倉小学校の木村委員にお願

いしたいが、いかがか。

(一同了承)

**【田中会長】**

- ・(会長就任のあいさつ)

**【木村副会長】**

- ・(副会長就任のあいさつ)

**【齊藤学校給食係長】**

- ・設置条例第6条の規定に基づき、以後の議事進行は会長にお願いする。

**【田中会長】**

- ・(1) 学校給食の運営から、(6) のその他まで、事務局から説明をお願いしたい。

**【大石栄養士長】**

- ・(資料【平成30年度上越市学校給食運営委員会】3頁～7頁の説明)
- ・学校給食用精米は、現在上越市産コシヒカリの無洗米を使用している。委託炊飯が38校、自校炊飯が34校となっている。
- ・今年度の食育の日献立は、ふるさと上越の輝く先人たち～食を通して郷土の偉人について学ぼう～」をテーマに実施している。
- ・食物アレルギーの状況については、学校生活管理指導票の提出に基づき、各校で除去食や代替食の提供を行っている。食物アレルギーの対応は、除去食、代替食を提供する際は、配膳の食器やトレイの色を変えて対応を行っている。学級担任等がみても、対応がわかるような形になっている。
- ・異物混入の防止は、調理員による納入時点での検収、調理作業前、調理中の確認や学校管理職による調理完了後の検食等で確認を行っている。
- ・異物混入の状況は、金属片など健康被害を及ぼす可能性のある異物混入については、県教育事務所を通して、県の方に報告を行っている。
- ・9月14日に、板倉中学校の生徒が喫食した混入物が、健康被害を及ぼす可能性のある異物であったため、保護者・県への報告とともに、報道機関への情報提供を行った。混入物は、両手鍋のネジ、金属1本。該当生徒は3年生の1名。生徒は喫食したが、吐き出して、けがはなかった。ほかのお子さんに対しては、異物混入はなかった。
- ・混入経緯は、委託先調理員が、各クラスの教室のコーンシチューを配食して

いる最中に、最後に汁量が足りないことに気づき、足りない分を給食室にあった両手鍋で調理を行い、急いでガスコンロで調理したため、鍋の取っ手部分が溶け、そのネジが緩み、配食缶に移し替えるときに、ネジが配食缶におち、それに気づかず配食したことによるもの。予防対策として11月7日（水）まで、教育総務課の栄養士が調理業務の立ち入り調査を実施した。また、当日の調理作業工程について、前日および当日の作業前に、調理員全員で打ち合わせを行い、汁量などの出来上がり量を全員で確認すること、そして調理器具に破損がないか、作業前作業中作業後の異物混入を防ぐための点検の徹底を指示し、現在は改善されている。

#### 【齊藤学校給食係長】

- ・（資料【平成30年度上越市学校給食運営委員会】8頁～12頁の説明）
- ・学校給食に使う食材、地場のものを子供たちに食べてもらいたいということから、地場産の使用率をあげていく取り組みを行っている。平成23年度からは、積極的な取り組みを行っており、平成23年度時点では5%台だった地場産の使用率が、平成29年度末で12.26%にあがってきている。これはJAえちご上越や地元の生産者、納入業者等のご協力により伸びてきている。
- ・平成28年度には、重点地区を設け農政部門と協力し取り組みを進めてきている。この中で、中郷区や清里区の使用率がかなり高くなっている。
- ・地場産の使用として、平成29年、30年度では、冷凍ほうれん草、冷凍なますかぼちゃ、平成30年度は上越産のじゃがいもを使用したコロッケも給食に提供している。
- ・学校給食調理業務の民間委託は、平成19年度から、市内に本社がある業者に委託し進めている。平成30年度は、給食施設68施設のうち43校が民間委託に切り替わっており、63%以上が民間委託になっている。民間委託は、次年度以降も、校数は年度によって違うが進めていくことになっている。
- ・東日本大震災以降、給食用食材の放射性物質検査を実施している。県内において、検査を実施しているのは、上越市と妙高市と長岡市の3市となったが引き続き検査を実施する。
- ・平成23年度から実施しているが、いずれも不検出の検査結果が出ており、上越市のホームページで周知している。

#### 【田中会長】

- ・今ほどの説明があった部分について、質問等あればお願いしたい。

#### 【上野委員】

- ・今一番問題になっている食物アレルギーの対応についてお聞きしたい。6頁で今報告があったが上越市内の対象者のお子さんの割合が2.82%、全国からすると低い気がする。それから、アナフィラキシーのお子さんと、エピペンのお子さんも、かなり多いという気がする。実際の現場の話をお聞きしたい。この2行目に書いてある学校生活管理指導票を提出に基づいて給食対応をするというのが原則になっているが、現場で私どもの大学の学生もこの件について研究している。新潟県下で管理指導票の提出率を調べたところ、60%くらいということ。これは県のデータだが、上越市の場合も、生活管理指導票の提出率はどうなのかということと、経済的な家庭の問題で受診しないがために出さないとか、色々な理由で管理指導票を保護者の方が出されないというケースがあるということも現実的にあると思われる。そのような場合はどのような対応を行っているのかお聞きしたい。

**【大石栄養士長】**

- ・学校生活管理指導票の提出については、小学校の給食対応人数の合計は202名、そのうち管理指導票の提出は199人となっている。このうち3名は未提出ですが、栄養教諭・栄養士から、保護者には提出の依頼を必ず行っている。ご質問のとおり、色々な理由から、中々出されないご家庭もある。同じく中学校も給食対応人数93人、管理指導票の提出が91人。2人が未提出である。

**【上野委員】**

- ・気になった点として、この上越市内の小中学生のデータは県に報告しているのか。

**【大石栄養士長】**

- ・県から報告を求める通知は2年に1回か3年に1回くらいであり、毎年の報告は行っていない。

**【上野委員】**

- ・先日、県の全体のデータはあるのかという話になったが、発表されていないのではないかと。公表しないことになっているものなのか。

**【大石栄養士長】**

- ・公表しないということはないが、県からの通知がないため自発的に県に報告はあげてはいない。このようなデータ等が必要であれば、出せる資料と思わ

れる。

**【上野委員】**

- ・エピペンが処方されているお子さんが44人いるが、学校ではどのように管理されているのか。

**【大石栄養士長】**

- ・委員の先生方から、回答をお願いしたい。

**【守橋委員】**

- ・春日中学校は、現在1人。2本処方されると、1本は本人が学校へ来る鞆の決めた場所に入れている。もう一つは学校で預かり教務室の決められた場所に表示し袋に使い方のマニュアルも入れて、該当者の名前を書いて保管している。なお、職員全員がわかるような場所に置いてある。

**【田中会長】**

- ・ありがとうございました。

**【小林委員】**

- ・現任校ではないが、前任の頸城中学校では、同じようにカバンの中に一つそれから、保健室の棚の中にひとつ入れてあり、4月に全職員でエピペンの打ち方の研修を行い、誰でも対応できるようにしていた。

**【上野委員】**

- ・ありがとうございました。私は附属小の学校医として関わっており、食物アレルギーの研修会を5~6年、毎年やっている。
- ・研修会は、市内の学校では、全校でやっているのか。また、今後の見通しとして毎年実施する予定か教員のエピペンの打ち方も含めて、お聞きしたい。

**【大石栄養士長】**

- ・研修会については、毎年1回、リージョンプラザ等で講師をお呼びして、養護教諭、栄養士、または学校の先生を対象にした研修会を開催している。
- ・年度初め、学校でエピペンの打ち方等を避難訓練と同じような形で研修を実施してもらいたいことを、全校の教頭に説明している。

#### 【大塚委員】

- ・研修会については、当校はエピペンを所有している児童はいないが、年度初めにエピペンの使い方を含めた食物アレルギーの対応の職員研修を、あるいは夏休み等に行っている。エピペンを所有する児童生徒がいる・いないに関わらず、職員研修を行うようにという指導は入ってきている。そのため、可能な限り行うということを確認している。
- ・ただ、課題があり学校で普段アレルギーの診断を受けていないお子さんが、初発で学校の給食の後なり、運動誘発性で、アレルギーを起こすということも結構少なくない。その場合、そのお子さんは、エピペンを所持していないため、その時は、エピペンの対応はできない。だけれども、その研修の内容に基づいて、救急車を呼ぶなりそういう応急対応をするということにはなっている。

#### 【上野委員】

- ・ありがとうございました。

#### 【田中会長】

- ・他に、質問等あればお願いしたい。

#### 【渡辺委員】

- ・食器は13区も含めて、全て同じ形、色の使用方法か。

#### 【齊藤学校給食係長】

- ・現在、全市的に切り替えを行っている。平成27年度から随時古くなった5年なり7年なりというサイクルで切り替えを行っている。
- ・現在、使用されている食器は合併前からのものもあるため、いずれはこのような形になることを、ご理解いただきたい。

#### 【渡辺委員】

- ・教員も異動があるため、同じ色であれば、非常に間違いが少ないかと思う。

#### 【田中会長】

- ・その他、ご質問等があればお願いしたい。

#### 【渡辺委員】

- ・当校も児童2名のエピペン所持者がおり、年度当初にエピペンの講習会を

行っている。

- ・以前の学校では、自分の患者がいる学校に出向いて、講習をしてくださる方がいた。全職員を対象に事例を基に非常に細かい丁寧な指導をいただいた。
- ・できればそのような機会があると、緊急事態に遭遇しても、ある程度の対応は、全職員ができると思われる。養護教諭が不在の場合も当然ある。そのような機会を設けていただければありがたい。

**【大石栄養士長】**

- ・ご意見に関しては、学校教育課の担当者と連携を取りながら、検討を行う。

**【渡辺委員】**

- ・ありがとうございました。

**【田中会長】**

- ・ありがとうございました。その他、ご質問等があればお願いしたい。

**【上野委員】**

- ・アナフィラキシーのケースについて、その詳細の内容について学校現場であったことをフィードバックすることはされているのか。
- ・また、どのような状況でなったのか、これは全国で何百例も集めて、それを公開しているようなところもある。
- ・上越市も、これまでも何件もあったと思われる。例えば、遠足に行った先で、食べたことで起こったとか、そのようなことも聞いている。このような事例について、フィードバックすることがあってもよいと思う。

**【大石栄養士長】**

- ・事例を基にフィードバックを学校に行うようにする。

**【田中会長】**

- ・その他に、ご質問等があればお願いしたい。
- ・他にご意見がないようであれば、次の議題に進めたい。

**【金子教育総務課長】**

- ・(閉会のあいさつ)



9 問合せ先

教育委員会教育総務課学校給食係

TEL : 025-545-9243 (内線 1050)

E-mail : [kyouikusoumu@city.joetsu.lg.jp](mailto:kyouikusoumu@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。

- ・平成 30 年度上越市学校給食運営委員会次第
- ・資料
- ・配布資料